



冬の定番調理でよく食べられている野菜

春菊



春 に花を咲かせ、葉が菊の葉に似ていることからその名がつけられた春菊。11～2月末の寒い時期に収穫される冬野菜です。

生産農家の勝又正典さん(中野)は、「従来から栽培しているトマト以外に、ハウス栽培で冬に収穫できる野菜をつくりたいと思い、約40年前、春菊の栽培を始めました」ときっかけを話します。

8月末に種をまき、約2か月で収穫を迎えます。「春菊は寒さに弱く、霜がおりたり、土が凍ったりすると枯れてしまうので、温度管理が重要です」と栽培の難しさを語ります。

「収穫は、毎朝全て手作業で行い、夕方、市場へ持って行きます。よい春菊



手作業で一本一本収穫する勝又さん

は、葉に厚みがあり、ギザギザが少ないものです。新鮮なものはやわらかくて、香りが豊かです。鍋料理やあえもの、てんぷらのほか、生のまま食べてもおいしいですよ」と話します。

地場産の春菊は、市内の大型スーパーで購入できます。まさに今が旬の春菊。ぜひ、新鮮なものを味わってみてください。

ズームアップ

いつでも色鮮やかな草花を見て楽しむことができる

押し花絵



乾 燥させた花を切り貼りしてつくる押し花絵。「押花グループ葵」の皆さんが制作し、市内の図書館や病院などで展示しています。

代表の仁藤道子さん(御幸町)は、「20年前、私が押し花インストラクターの資格を取得したときに、公民館(今のまちづくりセンター)から依頼を受け、講座を開催しました。その後、押し花をやりたい人が集まり、自主グループができました」と話します。

現在は約40人で、月に2回、作品制作や勉強会をしています。「押し花絵は、草花の自然な色を生かして、そのままの形で貼ったり、表現したい形に切り抜いたりして、風景画や動物など、大きささまざまな作品をつくることで



思い思いの作品をつくる「押し花グループ葵」の皆さん

きます。作品を知人にプレゼントして喜ばれたり、またつくってほしいと言われたりするとうれしいです。多くの人に作品を見て楽しんでもらいたいですね」と笑顔で話します。

今回制作したクリスマスをテーマにした作品は、12月25日まで原田まちづくりセンターに展示します。皆さん、足を運んでみてはいかがですか。

HAPPY PHOTO'S

我が家のアイドル



櫻井 杏珠ちゃん (五貫島)
H23.1.9 生
「かわいくて大好きな杏珠ちゃん! ずっと癒やしてね♥」



桑野 はなちゃん (宮島)
H25.5.20 生
「我が家のアイドルおはなちゃん!」



榎葉 和奏ちゃん (柚木)
H25.4.4 生
「毎日癒やされます。元気に大きくなってね★」



★我が家のアイドル大募集!!
あなたの子どもの写真(顔全体が写っている横写真)とコメントを大募集!! 詳しくは広報広聴課まで。
☎(55)2700 国(51)1456
kouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp